

国連ウィメン日本協会 おおさかニュース



発行：国連ウィメン日本協会大阪

発行：2020.3月

北京+25 とわたしたち

国連ウィメン日本協会大阪会長 三輪 敦子

国連ウィメン日本協会大阪の会員の皆様のなかには 1995 年の北京女性会議に参加された方もいらっしゃると思います。2020 年は、北京女性会議 25 周年。各地でジェンダー平等を加速するための動きが始まっています。アジア太平洋地域では、2019 年 11 月末にバンコクで、北京会議後の進展を検証するための会合が開催されました。政府間会合に先立ち 3 日間にわたって開催された NGO 会合のテーマは、1 日目が「怒り」、2 日目は「希望」、3 日目が「行動」。開会セッションでは「何に怒ってる?」という質問が参加者に投げかけられました。次々に手が挙がり、自分たちの怒りを共有しました。



2019 年バンコク会議の様子

北京会議後の 25 年間に進展したこととして、まず挙げられるのは「ジェンダーに基づく暴力」についての理解です。また、女性は一枚岩ではないこと、国籍と女性、障害と女性、部落と女性等、複数のアイデンティティが重なり合う差別や不平等に目を向けることの大切さも認識されるようになりました。性別が単純に二分化されないことも理解されるようになり、「性的指向・性自認」に基づく差別も議題にのぼるようになりました。

しかし、無償のケアワークの正当な評価と平等な分担は進んでいません。#Me Too に代表されるように「ジェンダーに基づく暴力」は不処罰が蔓延しています。ジェンダーギャップ指数に如実に示されるように、日本については、世界で起こっている変化から完全に取残されているという現状があります。世界では、トランプ政権が「性と生殖に関する健康と権利」に敵対的な態度を取っているため、特に「途上国」に暮らす女性の健康が脅かされています。

国連ウィメンは、政府、NGO、市民社会が団結し、今後、5年間で成果を出すために、以下の6つのテーマのアクション・コアリション（行動のための連合体）を設置します。

- (1) ジェンダーに基づく暴力
- (2) 経済的正義と権利
- (3) 身体の自律性・性と生殖に関する健康と権利
- (4) 気候正義のためのフェミニストの行動
- (5) ジェンダー平等のための科学技術イノベーション
- (6) 女性運動・リーダーシップ



バンコクの会議では、日本の女性はもっと怒るべきだと改めて感じました。怒りの声を集めれば、変革も可能になります。2020 年をきっかけに、嫌なことは嫌と言い、怒るべきことは怒り、みんなで社会を変えましょう。

2019年度 活動報告

「G20 大阪サミットに向けた女性活躍促進」

2019年4月6日（土） 会場：クレオ大阪中央

クレオ大阪中央にて、国連ウィメン日本協会大阪の総会を開催し、会員拡大に向けた広報のあり方や、今後のイベントについてなど、会員の皆様と活発な意見交換を行いました。総会後には、「G20 大阪サミットに向けた女性活躍促進」（スピーカー：国連ウィメン日本協会大阪 会長 三輪敦子、事務局 岸上真巳）をテーマにセミナーを開催し、多くの方にご参加いただきました。

セミナーでは、2019年6月に大阪市で開かれた主要20か国・地域首脳会議(G20サミット)に向けて、国際女性会議 WAW! /W20 や C20 の場に、どのように市民団体が関わり、どのような女性/ジェンダーの課題が話し合われているかが説明されました。参加者からは、「W20 について詳しく知れて良かった」「女性活躍促進について勉強していきたい」などの声をいただきました。



「UN WOMEN 事務局長 ムランボ・ヌクカさんを囲む会」

2019年6月29日（土） 会場：クレオ大阪中央

主催：国連ウィメン日本協会大阪、クレオ大阪中央、一般財団法人 大阪市男女共同参画のまち創生協会
後援：UN WOMEN 日本事務所、ヒューライツ大阪

6月に開催されたG20大阪サミットのために訪日・来阪したUNウィメン事務局長のムランボ・ヌクカ氏が、クレオ大阪中央に来館されました。

急な開催にも関わらず60名の方にご参加いただきました。当日は、大阪で女性やジェンダー問題に取り組んでこられた8団体がリレーメッセージを行いました。

ヌクカ事務局長は、集まった市民団体の活動報告を聞き、参加者に感謝の意を表するとともに、若い世代が意思決定に参画することの重要性や、家族形態の変容とともに今後多様な政策が必要であるなど、ジェンダー平等を達成するためのさらなる運動を呼びかけました。

そして、北京女性会議から25周年にあたる来年を契機に、北京行動綱領の強化や、新たな課題に取り組む必要性を訴え、日本、そして大阪も議論に加わってほしいと述べました。交流会では、様々な団体の皆さんや、学生の方々が意見交換を行いました。後日、「今回の日本滞在で一番心に残ったプログラムは」、との質問に、ヌクカ氏はこの日の会を挙げられたそうです。また、ヌクカ氏ご本人もこの会についてTweetされるなど、嬉しい報告を聞くことができました。



「CEDAW× 関西女性 交流会 in クレオ大阪」

2019年12月13日（金） 会場：クレオ大阪中央

主催：国連ウィメン日本協会大阪、クレオ大阪中央、一般財団法人 大阪市男女共同参画のまち創生協会

CEDAW（国連女子差別撤廃委員会）委員の、アルナ・デヴィ・ナラン委員（モーリシャス）、ジュノベバ・ティシェバ委員（ブルガリア）、タマーデル・アル・ラマー委員（サウジアラビア）が、クレオ大阪中央に来館されました。

女子差別撤廃委員会は、「女子差別撤廃条約」の進捗状況を確認するために設置された国連の機関で、条約締約国から得た情報を基に、提案や勧告を行っています。

今回は、外務省の招へいプログラムで来日され、草の根で活動する団体の皆さんとの交流の機会として、クレオ大阪中央と、(一財)大阪市男女共同参画のまち創生協会、そして国連ウィメン日本協会大阪が主催して、交流の場をコーディネートしました。

参加された団体の皆さんによるリリーススピーチでは、障がいのある女性の複合差別やLGBTの課題、性暴力救援センターやDV被害者支援の取組み、協議離婚における課題、男女間の賃金差別の問題など、様々な人権やジェンダーに関する課題提起がなされました。

その後は、クレオ大阪中央内にあるチャレンジカフェ hana さん提供の軽食をつまみながらの自由な交流会が開催され、国連ウィメンの活動や現状を直接委員に伝えることができました。それぞれの団体に取り組む課題について、委員からアドバイスを頂いたり、団体同士の情報交換を図るなど、活発な交流の機会となりました。

委員からは「皆さんは条約の事をよくご存じで、問題意識を持ちながら活発に活動されておられることに感銘を受けました。日本で実際にどのようなことが起きているのかよく理解できました」「今回、若者や男性も参加しています。若者も頑張ってください、若者が育っていくことを期待します。また男性がこのような問題に関わっていくことも、とても重要なことだと思います」というコメントを頂きました。CEDAW 委員との交流に加え、関西で活動する様々な団体との交流を深めることができ、大変貴重な機会となりました。



CEDAW とは…

1979年に国連総会で採択された女子差別撤廃条約(Convention on the Elimination of Discrimination against Women)は、女性・女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃することを基本理念とした条約である。具体的には、「女子に対する差別」を定義し締約国に対し、政治的及び公的活動、並びに経済的及び社会的活動における差別の撤廃のために適当な措置をとることを求めている。日本政府は1985年に批准している。

同条約によって、23名の委員で構成される女性差別撤廃委員会(Committee on Elimination of Discrimination Against Women)が設立され、締約国が提出する条約の実施状況に関する報告書の審査にあたっている。英語の敬称である CEDAW は、条約(the Convention)と委員会(the Committee)のふたつの意味を持っている。

ブース出展

「クレオ中央 フェスタ」

2019年11月16日(土) 会場：クレオ大阪中央



クレオ大阪中央にて、館のおまつりフェスタが開催され、国連ウィメン日本協会としてブース出展しました。私たちはお揃いの国連ウィメンTシャツを着て、来られた方々に向けて活動のPRをしました。

毎年多くの方が参加されるクレオ大阪中央のフェスタですが、今年もたくさんの方々にブースにお立ち寄りいただき、グッズ販売や、募金活動を行うことができました。他の出展者の方々とも交流ができ、有意義な一日を過ごすことができました。

世界の女性とつながろう 国連ウィメン日本協会大阪 入会案内



国連ウィメン日本協会大阪は、女性のための国連機関である UN WOMEN を大阪から支援する団体です。皆様からの募金、及び活動の純益は、UN WOMEN を通じ、世界の女性と少女のために使われます。世界の女性と少女の笑顔と未来を大阪から支えるために、是非お力をお貸しください！

会員募集

年会費(1月1日~12月31日)

◎個人会員：2,000円(1口)

◎法人会員：5,000円(1口)

ご寄付・会費お振込み先

郵便振替口座

口座番号：00900-9-207691

口座名義：国連ウィメン日本協会大阪



会員になって一緒に活動しませんか？あなたの支援をお待ちしています！



2019年度、募金及び会費収入は、172,063円でした。

温かいご支援とご協力をありがとうございました。

2020年度は、チャリティイベントやセミナーの開催とともに、会員のみならずと一緒に、国連ウィメンの活動に、より効果的な協力ができるよう、工夫を凝らしたキャンペーン活動を展開してまいりたいと思います。今後も、一人でも多くの方に国連ウィメン日本協会大阪を知っていただき、賛同いただけるよう活動のPRや募金活動を積極的に行っていきたいと思います。



国連ウィメン日本協会大阪 事務局

〒543-0002

大阪市天王寺区上汐 5-6-25

大阪市男女いきいき財団内

TEL：06-7656-9040

FAX：06-7656-9045

HP：<http://danjo.osaka.jp/unwomensaka/>